

# 交通事故の防止について

県民生活課

## 1 交通事故発生状況

### (1) 概要

単位：件、人

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H27. 11	H28. 11	増 減
発生件数	2,996	2,830	2,518	2,270	2,151	1,947	1,943	△ 4
死者数	57	42	48	37	38	29	47	18
高齢者	30	25	29	30	24	18	30	12
負傷者数	3,665	3,533	3,146	2,819	2,568	2,326	2,410	84
高齢者	586	652	563	525	480	429	508	79

※ 平成28年11月末は速報値である。

### (2) 死亡事故の特徴（本年10月末現在）

- 年齢別では、高齢者が全体の6割以上を占めており、そのうち歩行中が約4割
- 状態別では、運転中が約5割で最も多いが、歩行中も全体の約3割
- 時間別では、全体の約4割が夜間（日没から日の出まで）に発生
- 高齢者が起こした死亡事故は、全体の約4割

## 2 平成28年度の主な取組

- J A秋田厚生連と連携し、警察、市町村、関係団体の協力のもと、県内の病院3か所において、歩行者横断シミュレータを活用した交通安全教育を実施するとともに、高齢者交通事故防止のリーフレット、反射材用品を配布
- 秋田県老人クラブ大会において、会場内で反射材用品の展示会を実施するとともに、参加者に高齢者交通事故防止のリーフレット、反射材用品を配布
- 交通安全母の会や民生児童委員、民間企業等の協力を得て、高齢者宅への訪問啓発活動を実施
- 警察と連携し、街頭において、歩行者や自転車利用者に反射材用品を配布し、着用を指導
- 交通死亡事故抑止特別期間、年末の交通安全運動において、交通指導隊等による街頭活動を実施
- 交通死亡事故多発警報の発令に至らない状況でも、県民に注意喚起するため、注意報発令制度を創設